

そらち炭鉱の記憶  
アートプロジェクト

2017. 9.16(土) - 10.15(日)

10:00 - 16:00 入場は15:30まで  
土・日・祝日のみ 12日間開催

入場無料

## Special Thanks

赤帽ハイパーレスキュー 田中さん

植村とみ子さん

赤平コミュニティクラブ TANtan  
代表 三上秀雄さん・奥さま

TANtanの皆さん

吉岡先生

高丸さん

赤平市役所 井上さん

市役所の皆さん

照彦さん

アートの中で炭鉱遺産の価値と記憶を甦らせ、  
赤平の新たな物語を紡ぎます。

# 赤平アートプロジェクト ガイドブック

旧住友赤平炭鉱坑口浴場 および周辺施設

アート作品ガイドツアー / 小イベント 10.9(日)

立坑・自走柵整備工場ガイドツアー / 立坑ライトアップ

主催：赤平アートプロジェクト実行委員会

共催：赤平コミュニティガイドクラブ TANtan 札幌市立大学 上遠野研究室 NPO法人炭鉱の記憶推進事業団

# はじめに

## NPOについて



「炭鉱の記憶」を、過去の遺産として未来へ受け継ぐとともに、未来を占う貴重な素材として活用し、地域の再生に役立てたいと思い活動しています。〈空知旧産炭地域における「炭鉱の記憶」をキーワードにした地域再生のためのアートマネジメント人材育成事業〉研修のメニューとして、アートプロジェクトの企画・運営に一般市民が参加し、人や地域とアートをつなぐ役割を担っています。

## 札幌市立大学について



札幌市立大学の理念は地域社会への積極的な貢献です。空知産炭地でのアートプロジェクトは、本学の前身の札幌高専の時代の2004年に始まり、今回で9回目となります。地域や炭鉱遺産に寄り添いながら、アートを介して人々と交差しながら炭鉱の記憶を掘り起こしてきました。アートの制作はもとより、事業の企画や実施・運営など机上では学べないデザインの実践の場を提供いただいています。アートとデザインの最良のテキストとして皆様のご協力を宜しく願います。

## 赤平コミュニティガイドクラブ“TANtan”について

赤平市内に今もまだ残る炭鉱遺産を通して炭鉱の歴史、炭鉱遺産維持の必要性を伝えていく団体です。2004年から炭鉱施設のガイド等をボランティアで行っています。

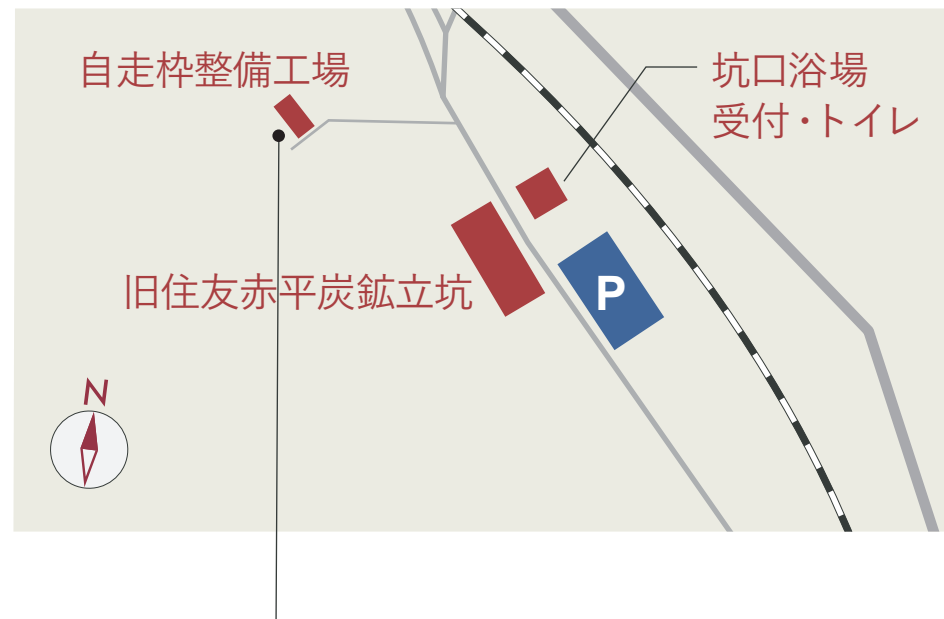
## 受付

旧住友赤平炭鉱坑口浴場入り口にて会場説明をいたします。  
注意事項をご確認いただき、同意の上ご入場いただきます。

## 関連企画

- |                  |   |
|------------------|---|
| 立坑・自走柵整備工場ガイドツアー | 旧住友赤平炭鉱立坑と自走柵整備工場を赤平コミュニティクラブTANtanが解説しながらご案内。会期中1日1回13:30より開催。         |
| 作品ガイドツアー         | 札幌市立大学の学生がアート作品の解説をしながら坑口浴場をご案内。  |
| 立坑ライトアップ         | 操業当時、24時間動いていたこの立坑やぐらにはライトが灯されていました。会期中、日没から20:00までライトアップして当時の様子を再現します。 |
| 小イベント            | 10/9(月・祝)には小イベントを開催。内容は当日までのお楽しみ。                                       |

# 自走柵整備工場

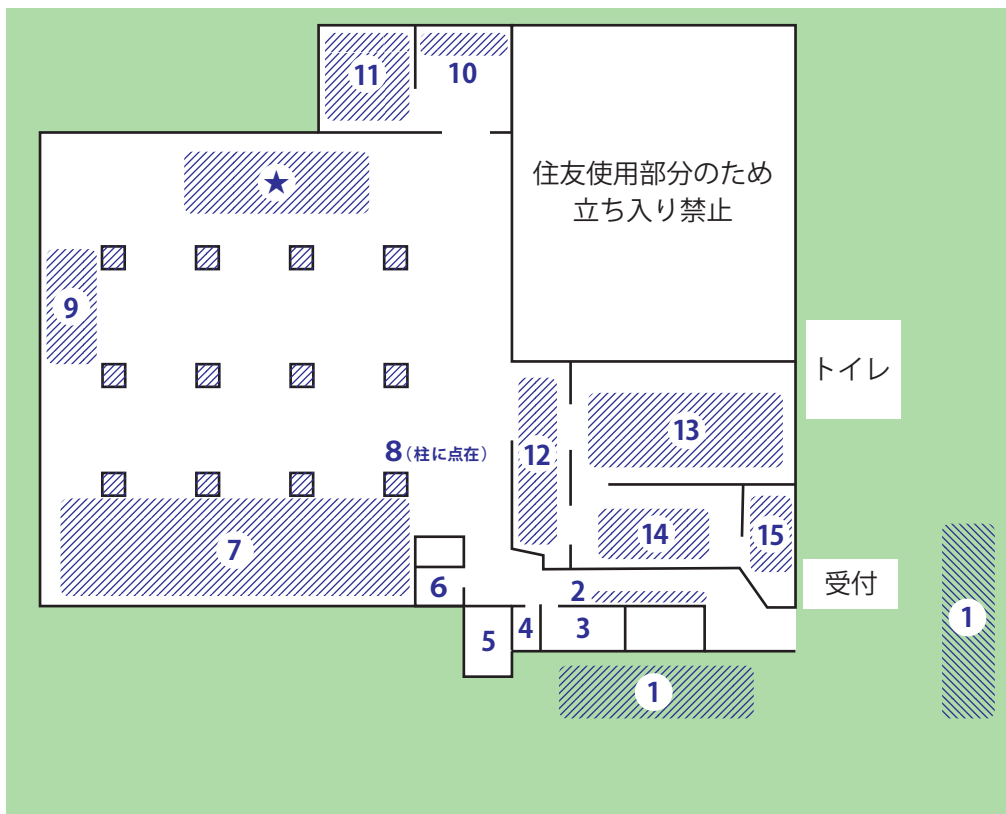


## 16 炭鉱が聞こえる 姚李蒞

今、廃墟となっている炭鉱では作業はなく、人もいない。昔の建物と機械しかなく、ばらばらな状態になった。さらに、広い空間ではとても静か。初めて行った時、怖いと感じた。逆に、当時炭鉱の繁栄時代では仕事の音、機械の音、話し声がいっぱい混ざっていた。にぎやか、うるさいと思う。そして、聴覚から当時の炭鉱の元気な仕事の雰囲気をも復元したいと考え、制作した。



# 旧住友赤平炭鉱坑口浴場



## 受付

- ※展示会場の足場が悪くなっておりますので、動きやすい格好でお越しください。
- ※坑口浴場・自走棧整備工場以外の場所は、立ち入り禁止区域となっております。
- ※一部作品は触ることができますが、その他作品にはお手を触れずをお願いします。
- ※写真撮影可能です。ぜひ SNS などにご投稿ください。
- ※トイレは会場内の仮設トイレを使用することができます。



## 上遠野プロデュース 特別企画

炭鉱安全啓発人形(左から住友ひとみ、住友さとし、住友まさみ)と一緒に記念撮影をしてみましょう!



赤平市炭鉱歴史博物館 蔵



## 石炭音インスタレーション 上遠野 敏



回転ガラガラ  
採炭した石炭の音を再現しました。



## 赤平黄金郷 上遠野 敏



ベニヤ板・塗料 他

自然に還っていく姿を野生動物のシルエットで現しました。



## スミおこしの芽 小坂 友梨、櫻田 沙綾

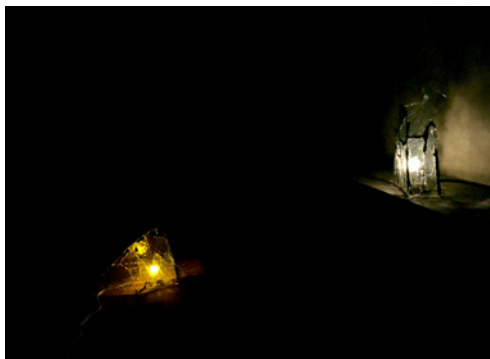


歴史を重ねてきたこの場所に、人々の記憶を呼び起こす芽が生えてきました。

4

## 光

吉田 奏子

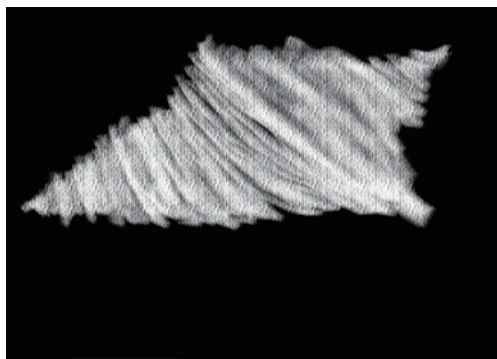


窓ガラスの破片、接着剤、LED 他  
いたずらによって割られた坑口浴場の窓ガラス。  
その破片を組み合わせて、2つのランプシェード  
を作りました。石炭のように脆く、荒々しい、そ  
して燃えるときの炎の美しい様を表しました。破  
片を使っているので尖っており、また壊れやす  
いため大変危険です。触れないようお願いします。

5

## おとのあと

南 怜花



私たちの生活はたくさんの音で溢れています。  
そこにあるのは、ありふれた音楽にはない豊かさ。  
のどかな赤平の風景に耳を傾け、その姿を想像して。

6

## 爪楊枝によるミニチュア世界

金井 祐貴

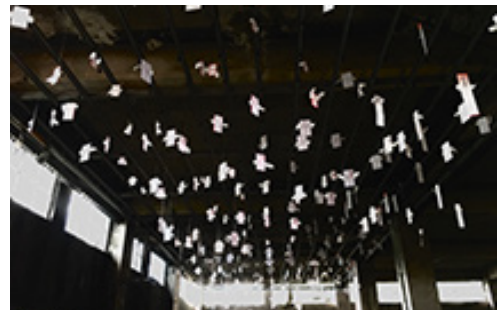


「山平パン」「珍来」「赤歌警察署」「クマゲラ  
ハウス」など爪楊枝で愛らしくも精緻な世界  
を展開している赤平在住作家作品。

7

## 友子同盟

上遠野 敏



吊りロッカー滑車、更衣室空間、祝儀袋 他

炭鉱に危険はつきもの。親方と炭鉱マンはかたい  
ちぎりで結ばれていた。それぞれの人生の門出を  
祝しました。





## 旧住友赤平炭鉱




赤平市の炭鉱開発は1913(大正2)年に鉄道が開通したことにより急速に進み、  
1918年(大正7)年に茂尻炭鉱、1937(昭和12)年には豊里炭鉱、1938(昭和13)年  
には住友赤平炭鉱と北炭赤平炭鉱が開鉱した。最も最後まで稼働した住友赤平炭  
鉱は、1963(昭和38)年に遼山の住友奔別の改良型となる高さ43.8m、深さは600mの  
立坑を建設、深部採炭を実現し、1994(平成6)年の閉山時まで使用された。現在も立  
坑ヤードや繰込場、坑口浴場などがほぼ完全なまま残されている。炭鉱最盛期の  
1965(昭和35)年には貨物発送量が日本一を記録した赤平駅の裏手には、赤間炭  
鉱の原炭ポケットが現存し、777段の階段が設置された標高197mのズリ山は赤平の  
シンボルとなっている。

# 会場MAP

 札幌市 - 道央自動車道札幌IC  
- 道央自動車道滝川IC - 赤平市  
(約1時間20分)

 札幌駅前ターミナル - 赤平駅前  
(約1時間40分)

 札幌駅 - 滝川駅 - 赤平駅  
(約1時間10分)



8

無題  
前川 莉菜



写真、参加型展示

私の好きな、炭鉱の様々な表情を切り取りました。

あなたの写真も展示しませんか？  
ぜひTwitter または Instagramでハッシュタグ  
「#赤平アートプロジェクト」を付けて写真を投稿し  
てください。こちらからご連絡し、展示いたします。

10

赤平資料映像  
吉川 久美子、赤平写真映像資料収集会



立坑をモチーフにした線画や住友赤平立坑の貴重な映像アーカイブを上映します。

9

モス地蔵と黄金郷  
上遠野 敏

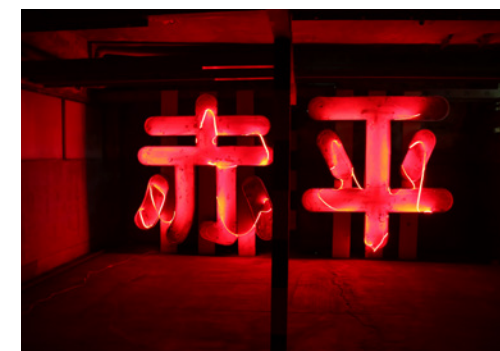


札幌軟石、金箔、木材 他

プロジェクトの安全と成功を祈念。先人への畏敬の念。

11

ネオン再見：赤平  
上遠野 敏



住友赤平立坑のネオン看板、LED 他  
かつて立坑建屋に付いていたネオン看板。かつての隆盛のシンボルを再見してみました。

12

## 炭鉱の面影

亀梨 亜弥華、前川 莉菜



シャドーアート、インスタレーション、影

かつての炭鉱マンの気配を、影で表現しました。ぜひこの風景に入り込んで、当時の世界を体感してください。

炭鉱マンとご自由に記念写真をお撮りください。

14

## 逆

姚 李蒞



炭の普遍的な印象には黒い、汚い、硬い、重い、深い、燃える。そして、全て普遍的な印象の逆思考からは白い、きれいな、柔らかい、軽い、高い、燃えない。従って炭の印象を深めると考え、制作した。

13

## ゆあみの分水嶺

上遠野 敏



苔、浴槽空間、映像 他

地底から地上へ。炭鉱マンはゆあみを境に無事故に感謝して、我が家に帰る。分水嶺を美しい苔に例えた。

15

## 見える、触れる

南 怜花



モノが奏でる魅力的な音と出会う空間です。自由に触って、奏でて、音と触れ合ってください。



## スタッフ

プロジェクト・プロデューサー：吉岡 宏高

特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団理事長  
札幌国際大学観光学部教授

プロジェクト・ディレクター：植村真美・大橋二郎

赤平コミュニティガイドクラブTANtan

アート・プロデューサー：上遠野 敏

札幌市立大学デザイン学部教授

アート・サブディレクター：前川 莉菜

札幌市立大学大学院デザイン研究科博士前期課程



## 作家一覧

上遠野 敏

札幌市立大学デザイン学部教授

前川 莉菜

札幌市立大学大学院デザイン研究科博士前期課程2年

亀梨 亜弥華

札幌市立大学大学院デザイン研究科博士前期課程2年

姚 李蒞

札幌市立大学大学院デザイン研究科研究生

南 怜花

札幌市立大学デザイン学部4年生

吉田 奏子

札幌市立大学デザイン学部2年生

小坂 友梨

札幌市立大学卒業生

櫻田 沙綾

札幌市立大学卒業生

地域在住特別作家

金井 祐貴

吉川 久美子

赤平写真映像資料収集会



## メディア

そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト

<http://sora-coal-art.info>

<https://www.facebook.com/sorachicoalmineartproject>

[https://twitter.com/soratan\\_ap](https://twitter.com/soratan_ap)

ハッシュタグ #赤平アートプロジェクト  
#そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト  
を付けて投稿しよう！